

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学 校 法 人 明 治 大 学

(2) 大 学 名

明 治 大 学

(3) 大学の位置

〒168-8555

東京都杉並区永福1-9-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナガヨシ イズミ) 長 吉 泉 (平成12年12月14日)	(ナガホリ モリヒロ) 長 堀 守 弘 (平成20年4月1日)	任期満了に伴い平成20年4月1日に 交代 (21)
学 長	(ナヤ ヒロミ) 納 谷 廣 美 (平成16年4月1日)		
学 部 長	(カニセ セイイチ) 蟹 瀬 誠 一 (平成20年4月1日)		
学 科 長	(オゼキ ナオコ) 尾 関 直 子 (平成20年4月1日)	(ナガオ ススム) 長 尾 進 (平成22年4月1日)	任期満了に伴い平成20年4月1日に 交代 (22)

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際日本学部 国際日本学科 学士 (国際日本学)	4 年	300 人	— 年次人	1200 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 0 年度		平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 300 (－) [－]	人	人 300 (－) [－]	人	人 300 (－) [－]	人	人 300 (－) [－]	人	1.24倍	
志願者数	4433 (－) [137]	－ (－) [－]	3868 (－) [114]	－ (－) [－]	7367 (10) ((13)) (－) [160]	－ (－) [－]	5767 (21) ((12)) (－) [191]	－ (－) [－]		
受験者数	4319 (－) [133]	－ (－) [－]	3570 (－) [98]	－ (－) [－]	7244 (10) ((11)) (－) [143]	－ (－) [－]	5638 (21) ((11)) (－) [175]	－ (－) [－]		
合格者数	814 (－) [50]	－ (－) [－]	892 (－) [66]	－ (－) [－]	1088 (4) ((5)) (－) [77]	－ (－) [－]	1203 (3) ((2)) (－) [91]	－ (－) [－]		
B 入学者数	324 (－) [29]	－ (－) [－]	381 (－) [43]	－ (－) [－]	399 (4) ((5)) (－) [51]	－ (－) [－]	376 (2) ((2)) (－) [52]	－ (－) [－]		
入学定員超過率 B／A	1.08		1.27		1.13		1.25			

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[29] 324	[-] -	[43] 381	[-] -	[51] 339	[-] -	[53] 377	[-] -	
2 年次	/		[28] 317	[-] -	[43] 384	[-] -	[54] 340	[-] -	
3 年次			/		[28] 322	[-] -	[41] 382	[-] -	
4 年次					/		[25] 316	[-] -	
計							[173] 1415		
	[29] 324		[71] 698		[121] 1045				

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数（a）	在学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成２０年度 （平成20年4月1日～ 平成21年3月31日）	計 [1]	（累積）計 [29]	1.9%
	うち平成２０年度入学者 6人	うち平成２０年度 324人	
	（主な退学理由） 他大学転学（5），家庭の事情（1）		
平成２１年度 （平成21年4月1日～ 平成22年3月31日）	計 [0]	（累積）計 [72]	0.3%
	うち平成２０年度入学者 1人	うち平成２０年度 318人	
	うち平成２１年度入学者 1人	うち平成２１年度 381人	
	（主な退学理由） 他大学転学（1），その他(1)		
平成２２年度 （平成22年4月1日～ 平成23年3月31日）	計 [1]	（累積）計 [123]	0.9%
	うち平成２０年度入学者 1人	うち平成２０年度 317人	
	うち平成２１年度入学者 4人	うち平成２１年度 380人	
	うち平成２２年度入学者 4人	うち平成２２年度 339人	
	（主な退学理由） 心身に関する事情(2)，他大学転学(5)，除籍(2)，		

2 授業科目の概要

<国際日本学部 国際日本学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目 (英語)	English 1A (Speaking)	1前	2				2	4 6 7 8			担当教員の退任・新規任用に伴い、英語がわかる全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (21) (22) 担当教員の退任・新規任用に伴い、英語がわかる全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更及び担当者の昇格による担当者職格変更 (23)
	English 1B (Speaking)	1後	2				2	4 6 7 8			
	English 2A (Listening)	1前	2			0 +	0 +	2 +			
	English 2B (Listening)	1後	2			0 +	0 +	2 +			
	English 3A (Reading)	1前	2			0 2	0 +	2 5			
	English 3B (Reading)	1後	2			0 2	0 +	2 5			
	English 4A (Writing)	1前	2				2	2 3 5 6			
	English 4B (Writing)	1後	2				2	2 3 5 6			
	Academic Writing A	2前	2			0 +	1	2 3 2			
	Speech & Presentation A	2前	2			1	2	3 5 6 4 +			
	TOEFL Preparation	2前	2				1	0 +			
	Academic Writing B	2後	2			0 +		0 0 0			
	Speech & Presentation B	2後	2					+			

外国語科目 (英語)		1集中 2・3集中			0			学生の履修上の配慮のため配当年次変更 (21)。短期留学プログラム認定科目のため担当者なし。学生の履修上の配慮のため配当年次変更 (22)。
	Study-Abroad Program	2集中	2		1			施設・設備未整備のため平成21年度未開講 (21) 平成22年度未開講 (22) 平成23年度未開講 (23)
	English Lounge A	未開講 2・3・4後	2		2			施設・設備未整備のため平成21年度未開講 (21) 平成22年度未開講 (22) 平成23年度未開講 (23)
	English Lounge B	未開講 2・3・4後	2		1			施設・設備未整備のため平成21年度未開講 (21) 平成22年度未開講 (22) 平成23年度未開講 (23)
	Advanced Level TOEFL	2・3・4前後	2			1	0	担当教員の退任・新規任用に伴い、英語がきゅう全体で教員の適性を考慮したことによる担当教員の変更 (21)
	TOEIC A	2・3・4前	2					
	TOEIC B	2・3・4後	2					
	Current English A	2・3・4前	1		1			英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (23)
	Current English B	2・3・4後	1		1 2			英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22) (23)
	Integrated English 1A	2・3・4前	2			1	0	カリキュラム充実のため、担当者追加 (23) 英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22)
	Integrated English 1B	2・3・4後	2				1 0	英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22)
	Integrated English 2A	2・3・4前	2				1 0	学生の履修上の配慮のため平成21年度未開講 (21)。平成22年度開講。英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22)
	Integrated English 2B	2・3・4後	2			1		英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (23)
	Integrated English 3A	2・3・4前	2				1 1	学生の履修上の配慮のため平成21年度未開講 (21)。平成22年度開講 (22) 担当者の昇格による担当者職格変更 (23)
	Integrated English 3B	2・3・4後	2		0			担当教員の退任・新規任用に伴い、英語がきゅう全体で教員の適性を考慮したことによる担当教員の変更 (21)。 英語がきゅう全体で教員の適性を考慮したことによる担当教員の変更 (23)
	Practical Drama A	2・3・4前	2					
	Practical Drama B	2・3・4後	2			1		
	Literature Reading A	2・3・4前	1		1	1		英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22) (23)
	Literature Reading B	2・3・4後	1		1	1		英語がきゅう全体で教員の適性を再度考慮したことによる担当教員の変更 (22) (23)

外国語科目 (第二外国語)	ドイツ語 1 A	1前	1				0 +		学部間共通科目（ドイツ語）との担当者調整により担当教員変更（22）
	ドイツ語 1 B	1後	1				0 +		学部間共通科目（ドイツ語）との担当者調整により担当教員変更（22）
	フランス語 1 A	1前	1			0 +			カリキュラム検討に伴う担当者変更（23）
	フランス語 1 B	1後	1			0 +			カリキュラム検討に伴う担当者変更（23）
	中国語 1 A	1前	1						
	中国語 1 B	1後	1						
	スペイン語 1 A	1前	1			1 0 1 0	0 +		2010年4月1日担当者昇格により担当者職格変更（22）
	スペイン語 1 B	1後	1			0 +	+		2010年4月1日担当者昇格により担当者職格変更（22）
	朝鮮語 1 A	1前	1				1		
	朝鮮語 1 B	1後	1				1		
	ドイツ語 2 A（学部間共通）	2前	1						
	ドイツ語 2 B（学部間共通）	2後	1						
	フランス語 2 A（学部間共通）	2前	1						
	フランス語 2 B（学部間共通）	2後	1						
	中国語 2 A（学部間共通）	2前	1						
	中国語 2 B（学部間共通）	2後	1						
	スペイン語 2 A（学部間共通）	2前	1						
	スペイン語 2 B（学部間共通）	2後	1						
	朝鮮語 2 A（学部間共通）	2前	1						
	朝鮮語 2 B（学部間共通）	2後	1						
日本語科目	日本語Ⅰa（読解）	1前	1				0 +		日本語Ⅰa～Ⅲb 開講コマ増に伴い、担当科目を再配置したための担当教員変更（21） 留学生数の変更により、担当科目を再配置したための担当教員変更（22） 日本語Ⅱa・Ⅲa 担当教員の退任・新規任用に伴い、担当科目を再配置したための担当教員変更（23）
	日本語Ⅰb（作文）	1前	1				0 +		
	日本語Ⅰc（聴解）	1前	1			0 +	1		
	日本語Ⅰd（口頭表現）	1前	1			0 +			
	日本語Ⅱa（読解と作文）	1後	1				0 +		
	日本語Ⅱb（聴解と口頭表現）	1後	1			1	1 0 +		
	日本語Ⅲa（読解と作文）	2前	1				0 +		
							0		

日本語科目	日本語Ⅲb（聴解と口頭表現）	2前	1					1			
	入門日本語（総合）	1前後		3				1			
	入門日本語（読解）	1前後		1							
	入門日本語（語彙・漢字）	1前後		1							
	入門日本語（会話）	1前後		1				1			
	初級日本語（総合）	1前後		3				1			
	初級日本語（読解）	1前後		1							
	初級日本語（語彙・漢字）	1前後		1							
	初級日本語（会話）	1前後		1				1			
日本研究科目（日本文化コース）	漫画文化論 A	1・2前		2		1	1				カリキュラム充実のため、担当者追加（23）
	漫画文化論 B	1・2後		2		1	1				カリキュラム充実のため、担当者追加（23）
	現代都市論 A	1・2前		2			1				
	現代都市論 B	1・2後		2			1				
	近代日本の文芸 A	1・2前		2		1					
	近代日本の文芸 B	1・2後		2		1					
	日本語の歴史 A	1・2前		2		1					
	日本語の歴史 B	1・2後		2		1					
	武道文化論 A	1・2前		2		1					
	武道文化論 B	1・2後		2		1					
	日本表象文化論 A	1・2前		2		1					学生の履修上の配慮のため配当年次変更（21）
	日本表象文化論 B	1・2後		2		1					学生の履修上の配慮のため配当年次変更（21）
	文化資料学	1・2・3・4後		2							カリキュラム充実のための科目追加。担当者調整のため平成21年度未開講（21）
	日本映画文化論 A	3・4前		2							
	日本映画文化論 B	3・4後		2							
	ジェンダーと表象A	3・4前		2			1				
	ジェンダーと表象B	3・4後		2			1				
	舞台芸術論 A	3・4前		2		1	1				担当者の昇格による担当者職格変更（23）
	舞台芸術論 B	3・4後		2		1	1				担当者の昇格による担当者職格変更（23）
	日本漫画史 A	3・4前		2			1				
	日本漫画史 B	3・4後		2			1				

日本研究科目（日本文化コース）	アニメーション文化論 A	1・2前 3・4前	2			1			学生の履修上の配慮のため配当年次変更（23）
	アニメーション文化論 B	1・2前 3・4後	2			1			学生の履修上の配慮のため配当年次変更（23）
	日本先端文化論 A	3・4前	2			1			
	日本先端文化論 B	3・4後	2			1			
	日本の文化伝統 A	3・4前	2		1				
	日本の文化伝統 B	3・4後	2		1				
	江戸学 A	3・4前	2		1				
	江戸学 B	3・4後	2		1				
	東アジア文化交流史 A	3・4前	2		1				
	東アジア文化交流史 B	3・4後	2		1				
	世界から見た日本美術 A	3・4前	2			1			
	世界から見た日本美術 B	3・4後	2			1			
	日本の哲学 A	3・4前	2		1				
	日本の哲学 B	3・4後	2		1				
	日本の宗教 A	3・4前	2		0		1		カリキュラム充実のための科目追加。担当 山本 孝教授（平成22年度就任予定）（21） 担当予定山本 孝教授就任前任用取消し（辞任）のため担当者変更（22） 新規専任教員任用に伴う担当者変更（23）
	日本の宗教 B	3・4後	2		0		1		
	日本語学 A	1・2前 3・4前	2			1			学生の履修上の配慮のため配当年次変更（23）
	日本語学 B	1・2前 3・4後	2			1			学生の履修上の配慮のため配当年次変更（23）
	伝統芸能論	3・4前 未開講	2						担当教員の大学役職者業務多忙のため、未開講（23）
	歌舞伎・能の美学	3・4後	2						
	武道思想史	3・4前	2						
	刀剣文化論	3・4後	2						
日本研究科目（日本型社会システムコース）	アート・ビジネス A	1・2前	2			1			カリキュラム充実のための科目追加（21） 担当 野村 清教授（平成22年度就任予定） カリキュラム充実のための科目追加（21） 担当 野村 清教授（平成22年度就任予定）
	アート・ビジネス B	1・2後	2			1			
	メディア研究概論	1・2前後	2		1				
	日本社会システム論 A	1・2前	2			1			
	日本社会システム論 B	1・2後	2			1			
	広告産業論 A	1・2前	2		1				
	広告産業論 B	1・2後	2		1				

日本 研究 科目 (日本 型 社会 シス テム コー ース)	クリエイタービジネス論	1・2前	2						カリキュラム充実のための科目追加 (21)
		2・3前							
	日本のビジネス文化 A	2前	2	1					学生の履修上の配慮のため配当 年次変更 (21)
		2・3後							
	日本のビジネス文化 B	2後	2	1					学生の履修上の配慮のため配当 年次変更 (21)
	日本的ものづくり論 A	3・4前	2		1				
	日本的ものづくり論 B	3・4後	2		1				
	メディア産業論 A	3・4前	2	1					
	メディア産業論 B	3・4後	2	1					
	コンテンツ産業論 A	3・4前	2	1					
	コンテンツ産業論 B	3・4後	2	1					
									カリキュラム充実のための科目追加 (21)
	日本伝統工芸研究	3・4後	2						担当 外山 徹 講師 (平成22年度就任予定)
	知財文化マネジメント A	3・4前	2	1					
	知財文化マネジメント B	3・4後	2	1					
	日本流通政策史論 A	3・4前	2	1					
	日本流通政策史論 B	3・4後	2	1					
	日本のマスメディア A	3・4前	2	1					
	日本のマスメディア B	3・4後	2	1					
	日本技術移転史 A	3・4前	2						
	日本技術移転史 B	3・4後	2						
	経済団体研究 A	3・4前	2						
	経済団体研究 B	3・4後	2						
	都市交通システム論 A	3・4前	2						
	都市交通システム論 B	3・4後	2						
日本 研究 科目	日本人の行動モデル A	3・4前	2						
	日本人の行動モデル B	3・4後	2						
	サービス・マーケティング A	3・4前	2	1					カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 野村 清教授 (平成22年度就任予定)
	サービス・マーケティング B	3・4後	2	1					カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 野村 清教授 (平成22年度就任予定)

国際 研究 科目	国際関係史 A	1・2前	2		0		1		後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更（21）。 新規専任教員任用に伴う担当者変更（23）
	国際関係史 B	1・2後	2		0		1		後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更（21）。 新規専任教員任用に伴う担当者変更（23）
	異文化間教育学 A	1・2前	2		1				
	異文化間教育学 B	1・2後	2		1				
	地域国際化教育論 I	1・2前	2		1				
	地域国際化教育論 II	1・2後	2		1				
	海外留学と国際教育交流	1・2前後	2		1				
	東アジア共同体論 A	1・2前	2						
	東アジア共同体論 B	1・2後	2						
	視覚文化論概説 A	1・2前	2		1				
	視覚文化論概説 B	1・2後	2		1				
	映画史概論 A	1・2前	2		1				
	映画史概論 B	1・2後	2		1				
	宗教と哲学 A	1・2前	2		1				
	宗教と哲学 B	1・2後	2		1				
					0		1		カリキュラム充実のための科目追加。 担当 山本 啓子教授（平成22年度就任予定）（21） 担当予定山本 啓子教授就任前任用取消し（辞任）のため担当者変更（22） 新規専任教員任用に伴う担当者変更（23）
	比較宗教論	1・2後	2		1				
	フランス文化論 A	1・2前	2		1				
	フランス文化論 B	1・2後	2		1				
	日独比較文化研究 A	1・2前	2			1	1		担当者の昇格による担当者職格変更（23）
	日独比較文化研究 B	1・2後	2			1	1		担当者の昇格による担当者職格変更（23）
	言語と文化 A	1・2前	2		2	1			カリキュラム充実のため、担当者追加（23）
	言語と文化 B	1・2後	2		2	1			カリキュラム充実のため、担当者追加（23）
	国際経済問題入門	1・2前	2						
	平和学	1・2後	2						
	国際経済史 A	1・2前	2						

国際研究科目	国際経済史 B	1・2後	2								
	東アジア芸術論 A	1・2前	2								
	東アジア芸術論 B	1・2後	2								
	ファッション文化史 A	1・2前	2	1							カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 中野香織 教授
	ファッション文化史 B	1・2後	2	1							カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 中野香織 教授
	比較文化学 A	2前	2	1							
	比較文化学 B	2後	2	1							
	アフリカと日本	2・3後	2			1					
	多文化共生論	3・4前	2	1							
	移民政策論	3・4後	2	1							
	イスラーム史 A	3・4前	2								
	イスラーム史 B	3・4後	2								
	ラテンアメリカの歴史と文化 A	3・4前	2		1						2010年4月1日担当者昇格により 担当者職格変更 (22)
	ラテンアメリカの歴史と文化 B	3・4後	2		1						2010年4月1日担当者昇格により 担当者職格変更 (22)
	海外日本研究事情	3・4前	2			1					
	映像文化論 A	3・4前	2	1							
	映像文化論 B	3・4後	2	1							
	応用言語学 A	3・4前	2	1							
	応用言語学 B	3・4後	2	1							
	英語学 A	3・4前	2	1							
	英語学 B	3・4後	2	1							
	ヨーロッパ都市風俗論 A	3・4前	2	1							
	ヨーロッパ都市風俗論 B	3・4後	2	1							
	社会保障論 A	3・4前	2								
	社会保障論 B	3・4後	2								
	現代アメリカ論 A	3・4前	2								
	現代アメリカ論 B	3・4後	2								
	近現代イギリス研究 A	3・4前	2		0						後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更 (21)
	近現代イギリス研究 B	3・4後	2		0						後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更 (21)

国際研究科目	インド経済論 A	3・4前	2						
	インド経済論 B	3・4後	2						
	近現代アフリカ史 A	3・4前	2				1		
	近現代アフリカ史 B	3・4後	2				1		
	E U 論 A	3・4前	2			1			
	E U 論 B	3・4後	2			1			
	モードの神話学 A	3・4前	2		1				カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 中野香織 教授
	モードの神話学 B	3・4後	2		1				カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 中野香織 教授
総合教育科目	社会学 A	1・2前	2						
	社会学 B	1・2後	2						
	政治学 A	1・2前	2						
	政治学 B	1・2後	2						
	経済学 A	1・2前	2						
	経済学 B	1・2後	2						
	経営学 A	1・2前	2				1		
	経営学 B	1・2後	2				1		
	西洋史 A	1・2前	2		0				後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更 (21)
	西洋史 B	1・2後	2		0				後藤（柴田）春美教授が退任により兼任講師となったための変更 (21)
	日本史 A	1・2前	2		1				
	日本史 B	1・2後	2		1				
	アジア史 A	1・2前	2						
	アジア史 B	1・2後	2						
	地理学 A	1・2前	2						
	地理学 B	1・2後	2						
	統計学 A	1・2前	2						
	統計学 B	1・2後	2						
	スポーツ・身体運動文化 A	1前	1						
	スポーツ・身体運動文化 B	1後	1		1				
	スポーツ・身体運動文化 C	2前	1						カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 渡邊新一郎 兼任講師
									カリキュラム充実のための科目追加 (21)

総合 教育 科目	スポーツ・身体運動文化 D	2後		1		1				担当 長尾 進 専任教授
	スポーツ・身体運動文化 E	2集中		1		1				学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 長尾 進 専任教授
	スポーツ・身体運動文化 F	2集中		1						学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21) 担当 多田 聡 兼任准教授
						4		2		
	国際日本学講座	1前後	2			5		4		カリキュラム検討に伴う担当者 変更 (23)
	日本語表現 (文章表現)	1・2前後	2			1				カリキュラム検討に伴う担当者 変更 (23)
	日本語表現 (口語表現)	1・2前後	2			4				
	情報リテラシー A	1・2前		2		3				カリキュラム検討に伴う担当者 変更 (23)
	情報リテラシー B	1・2後		2		5				
		1・2後								通常開講 (23)
		未開講								
	文化記号論	1・2後		2						カリキュラム充実のための科目追加。 担当 ランベリ教授 (平成22年度就 任予定) (21) 担当予定ランベリ教授就任前任用 取消し (辞任) のため未開講 (22)
		1・2・3・4期								
	情報基礎論 I	1・2前		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	情報基礎論 II	1・2後		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	画像情報論 I	2・3・4期		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	画像情報論 II	2・3・4後		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	文字情報論 I	2・3・4期		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	文字情報論 II	2・3・4後		2						学部間共通科目。全学的な配当 年次変更のため (21)
		1・2・3・4期								
	数値情報論 I	1・2・3・4期		2						学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21)
		1・2・3・4期								
	数値情報論 II	1・2・3・4期		2						学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21)
						1		2		カリキュラム充実のための担当教員増 加による追加 (21)
						2		3		前年度履修者数に基づき担当者 数変更 (22)
	日本研究実習	2集中		1		4				
						2				
	国際実践科目 1	1・2・3・4期		2		4				カリキュラム充実のための担当教員増 加による追加 (21)
						2				
	国際実践科目 2	1・2・3・4期		2		4				カリキュラム充実のための担当教員増 加による追加 (21)
						2				
	国際実践科目 3	1・2前後		2		4		1		カリキュラム充実のための担当教員増 加による追加 (21)
								1		
	国際実践科目 4	3・4前		2		1		2	4	前年度履修状況に基づき適切履 修者数を考慮し担当者数変更 (22) (23)

総合 教育 科目	国際実践科目 5	3・4後	2		1	1		他科目との担当者調整により、 担当者職格を一部変更 (22) 前年度履修状況に基づき適切履 修者数を考慮し担当者数変更 (23)
	インターンシップ	2集中	2					カリキュラム充実のための科目追加 平成21年度より単位認定 (21)
	学部間共通総合講座	1・2・3・4前	2					学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21)
	日本事情	1・2・3・4前	2		1			学部間共通科目。 カリキュラム充実のための科目追加 (21)
	地誌学概論	1・2・3・4前	2					
	法律学概論	1・2・3・4前	2					
	倫理学概論	1・2・3・4前	2					
	日本国憲法	1・2・3・4前	2					
演習 科目	演習 (2A)	2前	2		15 17 19 18	5 6 7 7	3 1 3 2	カリキュラム充実のための担当教員増加に よる追加 (21) 演習 (3A) 開設に伴う担当者組み換 えのため担当者数変更 (22) 演習 (4A) 開設に伴う担当者組み換 えのため担当者数変更 (23)
	演習 (2B)	2後	2		15 17 19 18	5 6 7 7	3 1 3 2	カリキュラム充実のための担当教員増加に よる追加 (21) 演習 (3B) 開設に伴う担当者組み換 えのため担当者数変更 (22) 演習 (4B) 開設に伴う担当者組み換 えのため担当者数変更 (23)
	演習 (3A)	3前	2		18 20 19	7 6 7	4 2 2	演習 (2A) との担当者組み換え のため担当者数変更 (22) 演習 (4A) 開設に伴う担当者組 み換えのため担当者数変更 (23)
	演習 (3B)	3後	2		18 20 19	7 6 7	4 2 2	演習 (2B) との担当者組み換え のため担当者数変更 (22) 演習 (4B) 開設に伴う担当者組 み換えのため担当者数変更 (23)
	演習 (4A)	4前	2		20 19	7 7	1 2	担当者の昇格による担当者職格 変更<22年度1名、23年度1名> (23)
	演習 (4B)	4後	2		20 19	7 7	1 2	担当者の昇格による担当者職格 変更<22年度1名、23年度1名> (23)
	留学関係科目	2集中	2					カリキュラム充実のための科目追加 平成21年度より単位認定 (21)
	国際 教育 プ ロ グ ラ ム 科 目	基幹科目 (異文化理解) I 基幹科目 (異文化理解) II 基幹科目 (文化・歴史) I 基幹科目 (文化・歴史) II 基幹科目 (法律・政治) I 基幹科目 (法律・政治) II 基幹科目 (経済) I 基幹科目 (経済) II	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2				カリキュラム充実のための科目追加 (22) (学部間共通科目)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	208	0	230	22	249	0	271	
				[ー]	[41]	[ー]	[41]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	English Lounge A	2	2・3・4	一般	選択	新たな施設・設備を要するため、学部開設までに整備する計画であったが、その後の全学的な施設・設備計画において、より効果的・効率的な設置が求められることとなり未開講としていた（具体的には、和泉校舎図書館内に施設設備を設置予定であったが、教育研究環境の整備及び地域連携の推進のために図書館立替が計画・推進されたため、開講を見送っていた）。代替措置として、授業科目ではないが、英語教員（ネイティブ）のオフィスアワーを必置とし（週2コマ×10名）、学生の参加を義務付け、英語コミュニケーションスキルを高める方策を実施している。（21） 当初の未開講理由は、上記通りであったが、2009年度の中野キャンパス取得という大学の新たな展開に伴い、当該科目に係る全学的な方針として、新キャンパスに施設設備を設置して実施する計画となった（実施場所は既に、新キャンパス内に計画されている）。ただし、新キャンパスは2013年度開設予定のため、開設までの間、学生への不利益のないよう上記オフィスアワーの充実を含めた代替案を検討していく。（22） 未開講の理由については、上述のとおりである。代替措置としては、英語教員（ネイティブ）のオフィスアワーを今年度も継続して行っている。さらに新たに英語教員（ネイティブ）を1名採用し、オフィスアワーのコマ数を増加させる対応も取っている。また、次年度以降のカリキュラムを検討の中で、既存の設備及び来年度竣工予定の新図書館を利用した形で、何かしらの対応が可能かどうかあわせて検討中である。（23）
2	English Lounge B	2	2・3・4	一般	選択	新たな施設・設備を要するため、学部開設までに整備する計画であったが、その後の全学的な施設・設備計画において、より効果的・効率的な設置が求められることとなり未開講としていた（具体的には、和泉校舎図書館内に施設設備を設置予定であったが、教育研究環境の整備及び地域連携の推進のために図書館立替が計画・推進されたため、開講を見送っていた）。代替措置として、授業科目ではないが、英語教員（ネイティブ）のオフィスアワーを必置とし（週2コマ×10名）、学生の参加を義務付け、英語コミュニケーションスキルを高める方策を実施している。（21） 当初の未開講理由は、上記通りであったが、2009年度の中野キャンパス取得という大学の新たな展開に伴い、当該科目に係る全学的な方針として、新キャンパスに施設設備を設置して実施する計画となった（実施場所は

2	English Lounge D	2	3・4	取	選択	既に、新キャンパス内に計画されている）。ただし、新キャンパスは2013年度開設予定のため、開設までの間、学生への不利益のないよう上記オフィスアワーの充実を含めた代替案を検討していく。（22） 未開講の理由については、上述のとおりである。代替措置としては、英語教員（ネイティブ）のオフィスアワーを今年度も継続して行っている。さらに新たに英語教員（ネイティブ）を1名採用し、オフィスアワーのコマ数を増加させる対応も取っている。また、次年度以降のカリキュラムを検討する中で、既存の設備及び来年度竣工予定の新図書館を利用した形で、何かしらの対応が可能かどうかあわせて検討中である。（23）
3	歌舞伎・能の美学	2	3・4	専門	選択	2010年度に引き続き、2011年度も開講を予定し準備を進めていた科目であるが、担当予定であった教員の大学役職者としての業務多忙に伴い、定期的な授業実施が困難となった。そのため、代替教員を探したが、特殊な科目であるため僅かな期間では適任者をみつけることができず、また、不定期な授業開講及び補講の実施は、学生への不利益を生じさせる結果になると判断し、2011年度については、未開講とすることとした。（23）

（4）廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（5）授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

English Lounge A・Bについては、未開講の理由である和泉図書館建設及び2009年度中野キャンパスの取得（2013年度開設予定）ともに、教育研究施設設備等の整備による本学全学生に対する教育研究環境の充実を目指した全学的な施設・設備計画によるものであり、代替的な対応も行なっているため現時点において特段の問題は無く、新たな施設での充実した教育を実現するために、今後準備を進めていく。なお、新たな施設設備による展開までの間については、従来から行っている代替措置の更なる充実を諮っていく。 歌舞伎・能の美学については、学部の教育課程の中で特色ある科目のひとつとして位置づけることができる講義であり、2011年度も引き続き開講する予定で準備を進めていたが、上記未開講科目欄に記載したとおりの理由により、開講を断念せざるを得なかった。しかしながら、同科目が設置されている科目群には、非常に多数の選択科目を準備しているため、学生の卒業要件充足については、大きな不利益は生じてはいない。また、一部、能や歌舞伎に関する内容を講義に取り入れている科目もあり、学生の幅広い興味・要望等に応じた科目選択に対しても、一定の担保は行えている。なお、2012年度にむけては、開講できるように、現在、スケジュールの調整を事前に進めている段階である。また、学生への周知については、全てシラバスに記載するとともに、年度初めのガイダンスにおいて周知しており特段の問題は発生していない。（23）
--

（6）「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	3	=	0.01
認可時の計画の授業科目数の計	230		

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地、運動場用地を 区分して再計算したため (21) 猿楽町用地の追加による 面積増加 (21) 中野用地の追加による面 積増加 (21)		
	校 舎 敷 地	238,187㎡ 280,315㎡	0㎡	0㎡	238,187㎡ 280,315㎡			
	運動場用地	368,691㎡ 372,460㎡	0㎡	0㎡	368,691㎡ 372,460㎡			
	小 計	606,878㎡ 602,784㎡	0㎡	0㎡	606,878㎡ 602,784㎡			
	そ の 他	307,144㎡ 225,438㎡	0㎡	0㎡	307,144㎡ 225,438㎡			
	合 計	914,022㎡ 828,222㎡	0㎡	0㎡	914,022㎡ 828,222㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途確認のうえデータ修 整したため (21)		
		280,781㎡ 281,373㎡ (281,373㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	280,781㎡ 281,373㎡ (281,373㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室：用途変更による修 正 (22) 用途変更による修正 (23) 職員：配置変更による修 正 (22) 配置変更による修正 (23)	
		249室 241室	164室 158室 164室	385室 381室	29室 30室 158人 160人 (補助職員150人)	23室 18人 (補助職員20人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員の増加による変 更 (23)	
		国際日本学部			40 37 室			
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	1. 大学全体 2. 電子ジャーナルは外国書 込みの数 購入による増加 (22)
	国際日本学部	(2,362,000 [821,000])	(24,773 [7,730])	(32ﾊﾞｯｹｰｼﾞ'19,209ｷｬﾄﾙ)	(38849 38276)	((5871))	(4)	
	計	(2,362,000 [821,000])	(24,773 [7,730])	(32ﾊﾞｯｹｰｼﾞ'19,209ｷｬﾄﾙ)	(38849 38276)	((5871))	(4)	
(6)図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		23,914㎡	3,110		2,430,416			
(7)体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		12,449㎡	バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,209千円	944千円	944千円	944千円	－ 千円	－ 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、資産運用の果実及び寄附金その他の収入をもって維持運営する					

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	文学部心理社会学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成23年度入試から入学定員を増員する等、是正に努めている。その結果、定員超過率は是正されている。 (平成23年度入学定員超過率0.99、4年間の平均入学定員超過率1.24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	留意事項なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

7 その他全般的事項

<国際日本学部 国際日本学科>

(1) 設置計画変更事項等

届 出 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①留学生については2年次後期以降の海外留学・夏期語学研修を原則として実施せず、それに代わるものとして「日本研究実習」（学外の様々なフィールドに出て、日本の文化・社会システムを体験的に学ぶ）を実施する。 ②和泉校舎図書館：蔵書冊数319,943冊	①学生のニーズや日本人学生・留学生の機会均等を考慮し、留学生の2年次後期以降の海外留学・夏期語学研修を可能にするとともに、日本人学生の「日本研究実習」も可能とした。(21) ②教育・研究用の資料整備のため、2008年度において、国際日本学関連の書籍を約1500冊増書した。2009年度以降についても継続して整備する計画である。(21)
①和泉校舎図書館：蔵書冊数319,943冊 ②次年度以降の各入試形態別の受入数は、一般入学選抜試験（160名）、全学部統一試験（20名）、付属高校推薦入学試験（30名）、留学生入学試験（40名）、大学入試センター利用入学試験（30名）、指定校推薦入学試験およびアドミッションズ・オフィス入学試験（スポーツも含む）（20名）、計300名とする。	①和泉校舎図書館蔵書冊数については、本学部及び他学部等の教育・研究用の資料整備に伴い、320506冊と蔵書している。また、本学部単独での教育・研究用の資料整備については、2009年度において、1420冊増書した(22)。 ②2010年度入試（2009年度実施）は、一般入学選抜試験（175名）、全学部統一試験（20名）、付属高校推薦入学試験（30名）、留学生入学試験（45名）、海外就学者入学試験（若干名）、大学入試センター利用入学試験（20名）、指定校推薦入学試験（5名）、スポーツ特別入学試験（5名）計300名。その他、編入学試験（2・3年）及び学士入学試験（2・3年）（若干名）を実施。次年度以降は、文部科学省による国際化拠点整備事業の採択に伴う英語コース入試の実施による留学生拡大等により、各入試人数を変更の予定(22)。
①和泉校舎図書館：蔵書冊数319,943冊 ②次年度以降の各入試形態別の受入数は、一般入学選抜試験（160名）、全学部統一試験（20名）、付属高校推薦入学試験（30名）、留学生入学試験（40名）、大学入試センター利用入学試験（30名）、指定校推薦入学試験およびアドミッションズ・オフィス入学試験（スポーツも含む）（20名）、計300名とする。	①和泉校舎図書館蔵書冊数については、本学部及び他学部等の教育・研究用の資料整備に伴い、306,088冊と蔵書している。また、本学部単独での教育・研究用の資料整備については、2010年度において、627冊増書した。なお、新規受入図書があるにもかかわらず蔵書数が減少しているのは、和泉新図書館建設準備に伴い、狭隘な代替施設に蔵書を一時移転させるため、2009～2010年度にかけて他キャンパスとの重複資料を中心に大量の除籍作業（2年間で約33,000冊除籍）を行なったためである。(23) ②2011年度入試（2010年度実施）は、一般入学選抜試験（162名）、全学部統一試験（20名）、付属高校推薦入学試験（30名）、留学生入学試験（57名）、海外就学者入学試験（若干名）、大学入試センター利用入学試験（20名）、指定校推薦入学試験（6名）、スポーツ特別入学試験（5名）計300名。その他、編入学試験（2・3年）及び学士入学試験（2・3年）（若干名）を実施。なお、留学生入試の募集人員には、文部科学省による国際化拠点整備事業の採択に伴う英語コース入試（12名）を含んでいる。(23)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。また、本学部においては、全学的な教員の資質の維持向上の方策（授業評価アンケートの実施、各種研修・講演会への積極的参加など）に積極的に参加するとともに、学部独自のFD委員会（自己点検・評価委員会が兼務）を設置して、学部独自の各種アンケートの実施や科目群毎の授業改善に向けた検討を行なっている。講演会・シンポジウム等を開催し、授業改善のための情報交換を行なっていくことも計画している。また、学部学生支援委員会では、学生との懇談の場を設け、学生のニーズの吸い上げを計画している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学部独自のFD委員会（自己点検・評価委員会が兼務）については、教育内容・教育技法の改善を行うことによる効果的な教育活動の実践の支援・促進を目的とすることから、各年度末・年度初めを中心に集中的に委員会を開催している。特に、自己点検・評価報告書の作成に合わせて、教育内容・教育技法やその他各種改善内容を検討し、教授会への報告も行っている。

c 委員会の審議事項等

以下の内容を中心に現状を踏まえて、問題点・改善方法等について検討を行なっている。

- ・教育内容、教育課程の適切性
- ・教育方法、教育指導方法
- ・教育研究組織
- ・教員組織の適切性
- ・研究活動の適切性
- ・学生支援
- ・その他、学部の教育内容・教育技法に関すること

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

学部独自の具体的な取り組みとしては、第1に、英語教員および英語カリキュラム全体の質の維持向上のために、英語教員全員が毎週定期的に、カリキュラムの問題点や改善策、教材開発についての検討会議を開催している。第2に、英語の検討会議の第3週には、英語教員が各自の研究を発表する機会が設けられている。第3に、英語特任教員（期間を付した専任）は全員ポートフォリオの作成を義務づけられ、各自が作成した教材や成果についてのレポート、また、個人や共同でのアクションリサーチレポート、投稿論文・学会発表論文の報告、自己評価表・学会参加状況の記録収集などを行っている。第4に、英語特任教員の任期の2年目と3年目には（2009、2010年度）、他の英語教員2人による授業観察を行い、授業改善に役立てている。また、科目群の教員でメーリングリストを作成し、情報の共有（有益な資料や教材・教育手法など）の定期的な連絡（毎日）も活用している。

日本語関連科目では、「日本語表現（文章表現・口語表現）」のカリキュラムおよび日本語教員の質の維持向上のために、担当者が授業内容について議論する場を定期的に設けている。その他の科目群においても、担当者間における授業内容・方法、評価基準の調整など、科目群の委員会において同様の取り組みが行なわれている。加えて、本学部内にはカリキュラム検討委員会・将来構想委員会が設置され、社会的ニーズや学生への便宜を検討・配慮した中・長期的な視点によるカリキュラムの充実計画や教育方法の検討を行なっている。

今後は、完成年度に向けて、今までの実績を評価して、教育課程・分類の見直し、コース制の見直し、留学制度の整備、段階的履修体制の改善、学部間共通科目化の推進、e-Learning導入等の検討とともに、その教育技法について検討を進めていく。

全学的な取り組みについても積極的に参加しており、年2回実施の授業評価アンケートについては、兼任を含む全教員を対象に実施し、FDに係る研修・講演会については、学部教授会において、積極的な参加を呼びかけるなどの対応を行なっており（内容に応じて、参加者を人選し、出席依頼している）。新規採用教員については、可能な限り各研修・講演会へ参加することを求めている。

また、学生支援委員会では、各ゼミナールの学生から、学部・教員・カリキュラム・支援に対する要望を直接確認する機会を設け、ニーズの把握に務めている。

b 実施方法

上記の実施内容の通り、教育内容・教育技法の改善に係る具体的実施内容・方法は、英語・日本語などの各科目群において定期的または不定期に行なわれる会議体で検討し実施している。また、全学的な取り組みへの対応については、全学的な会議体で決定・報告された内容に従って、教授会において紹介し、積極的に参加するように依頼している（内容によっては全員参加、参加人員選出なども行なっている）。授業評価アンケートについては、前後期において期間を設け、期間内に全教員が各担当科目においてアンケートを実施し、アンケート集計結果は学部へ送付される。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

上記の実施内容における具体的内容については、英語・日本語をはじめ、各科目群の実施時には、各科目群担当者は、原則として全員参加することになる。また、全学的な授業評価アンケートについては、非常勤を含めた全教員が参加し、研修・講演会等については、できるだけ多くの教員の参加を呼びかけている（内容によっては、参加者を選出するなどの対応も行なう）。特に、新規採用教員については、別途に学部として参加を依頼している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

委員会の検討や上記の実施内容の実施結果を踏まえて出された課題等については、各科目群における会議や学部執行部において、改善に向けた方策を検討し、即時対応できるもの・次年度以降の改善となるものなど、状況に合わせて対応している。また、開設後間もないため、改善の取り組みは多くはないが、今後の学年進行に伴って、さらに充実したものといっていく。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

21世紀は、政治・経済のみならず文化・教育の分野においても、グローバルな問題への迅速かつ本格的な対応を迫られる時代である。こうした時代のニーズに積極的に対応するとともに、本学の「『個』を強くする」という教育理念に従い、個人としての魅力や競争力を身につけ広く国際社会で活躍できる人材の育成を目指している学部は、国際化という時代のニーズに合致した極めて重要なものである。これらの理念・目的・教育目標は、学部の設置計画段階から広く周知に努めた結果、2カ年の状況ではあるが、入学試験の志願者動向や各方面の評価を見ると、次第にしっかりとその設置の趣旨・目的が浸透しつつある。

本学部は2008年度の開設であるため、設置の趣旨・目的の実現についての本格的な評価と改善策等の検討、見直しの必要性の有無等は、一つのサイクルが完了する完成年度以降になるが、開設後の中間点としては、現状では、達成に向かって推進していると考えられる。

しかしながら、学部の置かれている状況を幅広くかつきめ細かく客観的認識し、それに基づき学部の進むべき方向性を明示して、学部の教育・研究の発展を目指すために、本学部では、初年度から自己点検・評価報告書を作成しており、明治大学自己点検・評価委員会、学部内自己点検・評価委員会、学部執行部会議等による検証や見直し等を行い、具体的な改善案を策定し、次年度以降の教育研究計画に反映させる予定である。

また、学部内に新たに設置した、将来構想委員会においても、現状のカリキュラム・教育課程・教育方法を評価して、完成年度以降の新たな学部改善に生かしていく計画である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成24年3月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価の結果をホームページで公表し、広く学内外から結果に対する意見を聴く体制をとっている。

③ 認証評価を受ける計画

・「大学基準協会」の行う大学評価へ申請を行い、2008年3月に大学基準に適合していると認定された。その際に指摘された「助言」をはじめとした様々な課題について具体的な改善策のアクションプランを作成するとともに、定期的な認証評価の申請に対応する体制作りを検討している。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2011年度6月掲載予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(公表した場合、承諾する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/secchi/>)